

平成 29 年度 一般社団法人 相模原市高齢者福祉施設協議会 事業計画

1. 活動方針

少子高齢化が進み、最近では肌で感じられるほどに人材雇用の悪化を感じるようになりました。大手スーパーマーケットではレジの無人化が進み、24 時間営業をしていた外食チェーン店や居酒屋なども深夜営業を取りやめる店が続出しています。これまでは介護だけとっていた人材不足が他の業界でも当たり前になり、人口減少の影響を身近に感じるようになってきました。

人口減少から生み出される最大の問題は、人材問題です。この問題は介護業界にとっては最重要課題ですが、しかし、残念ながら私たちでは少子高齢化の流れを止めることはできません。これを変えるには、国家を挙げて少なくとも 100 年単位での取り組みが必要です。外国人の登用や女性労働力の掘り起こし、そして定年延長など、国も企業も必死になってありとあらゆる対策に取り組んでいますが、その抜本的解決策については未だに見えて来ません。

人口減少がますます肌で感じられるようになってきた昨今、福祉や介護関係の会議に出席して不思議に思うことは、私たち介護事業者はまだ国や関係機関、政治家などが雇用を安定させてくれると思込んでいる、あるいは期待しているということです。私たちがそう思いながら他力本願している間に、民間企業は様々な手を打ち始めています。たしかに介護業界は制度で縛られているので、具体的な策を打つには制度が大きな壁になっていることは事実です。しかし、民間事業者とのイコールフィッティングの観点から言えば、私たちは民間より有利な立場にいるとも言えるのに、どうして容易く壁を乗り越えることができないのでしょうか？

最近、諸外国と比較して日本の労働は非効率的だということが言われ出し、これについての議論が盛んになってきました。戦後の高度成長を支えてきた社会システムが非効率的とはどういうことかと、首をかしげる方もいるかもしれませんが、日本人の労働生産性は先進国で 20 年連続最下位となっています。しかし、これは主にホワイトカラーの労働生産性についてのものであると分かると、その本質が見えてくるような気がします。では、これを介護業界にあてはめて考えた場合はどうでしょう。「介護の労働生産性は？」という問いかけに対し、私たちの頭の中では「介護業界は制度で縛られているので…」という言い訳が無限ループを始めてしまうのではないのでしょうか。それは介護に「効率」を求めることよりも「安全性」や「サービスの質」を追求するよう制度が組み立てられているからです。しかし、人口減少が顕著になる中、たとえば入所施設の職員配置 3：1 をいつまで続けていくことができるのでしょうか？ その答えは「効率」という言葉のなかにヒントがあるのかもしれませんが。

平成 29 年度の(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会の活動は、28 年度の計画を踏襲し、その内容を定着させ効率化していくことに重点を置きます。計画の遂行上、改善のための変更などはあるとは思いますが、「介護人材の開拓」、「賛助会員の募集」、「PR 活動の充実」、「高齢者福祉の経営を考える」を四本柱に据えて事業の展開を図っていくことといたします。

1 介護人材の開拓

介護職員初任者研修は、各施設の新人研修などにも寄与できるよう春から開催できるようにします。これにより、無資格の新人を採用しても数か月後には有資格者として勤務できるようになります。多くの会員施設にこの研修制度をご利用いただき人材の開拓と新人研修につながるよう、研修の質の向上に努めてまいります。

28年度に神奈川県より受託した介護助手事業は人材開拓の一助として位置づけ、今年も事業受託を予定しています。この事業は特に介護の補助的な仕事をカバーすることを目的としており、今後の人材不足と介護業務の分散化、効率化につながるものと考えております。29年度は参加できる施設数を拡大して実施する予定です。

2 賛助会員の募集

昨年より募集を開始した賛助会員はおかげさまで約25社となりました。この賛助会費を元手に新たに広報紙の発行も可能となりました。29年度も継続して賛助会員を募ることとしますが、賛助会員としてのメリットも図らねばなりません。そのためにも正会員のみなさまとの交流を積極的に図っていきたいと考えています。また、市内の民間介護事業者へも積極的にアプローチし、賛助会員となっていただくことにより情報や課題の共有化を進めていきます。

3 PR活動の充実

広報紙「相模原高齢協」の内容を充実するとともに、春には恒例の「相模原市民桜まつり」に出展し、業界のPRに努めます。7月には「かながわ高齢者福祉研究大会」の幹事を相模原市高齢協が務めます。高齢協の会員の皆様にも是非ともたくさんの研究発表にエントリーしていただき、相模原の介護の素晴らしさを発表していただきたいと考えております。

秋に開催される「介護の日大会」は、29年度は相模原市老健協が委員長を務めることと決まりましたが相模原市高齢協もこれまで通り大会運営に参画してまいります。

4 高齢者福祉の事業経営を考える

28年度の市への陳情により、次期、相模原保健福祉計画策定に関連する会議への高齢協から派遣する委員の増員が図れることとなりました。今後予定される会議には、正会員より委員を厳選し派遣していきたいと思います。高齢者福祉経営研究会には引き続き相模原の介護事業経営の課題を見出し、その解決策などについてまとめていただくとともに、相模原市保健福祉計画の派遣委員や委員アドバイザーとしての役割も務めていただく考えです。

2. 全体事業計画

(1) 定期総会の開催

総会は(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会の議決機関として、相模原市高齢者福祉行政に関係する機関の参加を仰ぎ、事業活動計画及び予算案、事業活動報告・決算案を審議するために年2回以上開催します。また、総会終了後は、列席者及び介護職員育成校の先生方をお招きして三者による懇談会を開催し情報交換の場とします。

(2) 合同施設長会の開催

相模原市、相模原市社会福祉協議会との連携をより強化するために情報交換及び意見交換の場として、おおよそ年2回以上合同施設長会を開催します。なお、終了後必要に応じて施設長会を開催します。

(3) 理事会の開催

理事会は、(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会の事業及び予算の計画や執行状況、部会毎の事業計画に係る報告等をもとに意見交換を行って課題解決に向けた方途を検討する他、協議会の円滑な運営に向けた調整等を行うため、毎月もしくは必要に応じて開催します。

(4) 相模原市社会福祉協議会並びに神奈川県社会福祉協議会、老人福祉施設協議会との連携

かながわ高齢者福祉研究大会へ参加するとともに、神奈川県全体で実施予定の経営実態調査(特養のみ)に参加し、次期介護報酬改正に備えます。

(5) 賀詞交歓会の開催

(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会の会員施設及び相模原市高齢者福祉行政に関する機関や介護職員育成校との交流をとおして情報交換の場とします。

(6) 各地区の職員親睦会の開催

(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会加盟施設職員等の親睦と交流促進のため、年1回各地区会ごとの主催で親睦会を開催します。

(7) 各地区の施設長・管理者懇親会の開催

(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会加盟施設長・管理者の親睦と交流促進のため、年1回各地区会ごとの主催で親睦会を開催します。

(8) 相模原市へ要望書の提出

高齢者福祉経営研究会において要望書(または陳情書)の内容を検討し、相模原市へ提出します。

(9) 職員海外研修の催行

市内施設職員向けに海外研修旅行を企画・催行します。今年は秋口にアメリカの介護施設視察を検討します。

(10) 賛助会員との交流会

賛助会員となった皆様との情報交換と互いの親睦を図るために交流会を催行します。賛助会員は様々な事業者が会員となることが予想されます。賛助会員の貴重なお知恵を拝借できるよう魅力的な交流会を企画します。

(11) 防災対策の充実

BCP策定の推進に向けて神奈川県及び神奈川県社協との連携によりHPを活用した防災対策システムの構築を行なう。

3. 29年度(一社)相模原市高齢協の本部計画案について

合同施設長会等について

期 日	内 容
29年 4月	理事会
5月	理事会・第1回 定期総会(事業報告)
6月	理事会
7月	理事会・合同施設長会(情報交換)
8月	
9月	理事会
10月	理事会
11月	理事会・合同施設長会(情報交換)
12月	理事会
30年 1月	理事会・賀詞交換会
2月	理事会
3月	理事会・第2回定期総会(次年度計画)

【その他の実施事業・備考】

- ・相模原市との懇談会(随時)
- ・専門委員会(随時)
- ・研修事業(研修委員会による企画・運営)

4. 各部会事業活動計画

(1) 特養部会

平成29年度役員

部会長 コスモスホーム 松岡 美智子 施設長
 副部会長 モモ 大原 伸介 施設長

目標：平成30年4月の医療・介護同時改定について情報交換や今後の経営課題を共有し施設運営に資する。また、引き続き経営実態調査に取り組み行政への提言の統一した根拠資料を作成する。

期 日	施設長会	栄養士会	生活相談員 CM会	介護・ 看護職員会
29年 4月			役員会	
5月		全体会・役員会 勉強会		
6月	施設長会			

7月			相談員全体会議・ 勉強会・役員会	
8月				
9月		全体会・役員会 勉強会	相談員・介護支援 専門員全体会議	
10月	(仮)施設長会		MSW交流会打ち 合わせ(役員会)	全体会議
11月				
12月			MSW交流会	
30年 1月	施設長会(次年度事業計画について他)	全体会(次年度事業計画作成) 役員会・勉強会	相談員全体会議・ 役員会(次年度事業計画作成)	
2月				
3月				

(2) デイサービス部会

デイ部会では、施設長会を年4回(単3回、併1回)、生活相談員会議を年4回開催する予定です。また、必要に応じ緊急を要する事項がある場合には臨時部会を開催します。

期 日	施設長会	相談員会
29年 4月		第1回 生活相談員会議
5月	第1回 施設長会(単) 第1回 施設長会(併)	
6月		
7月		第2回 生活相談員会議
8月		
9月	第2回 施設長会(単)	
10月		
11月		第3回 生活相談員会議
12月		
30年 1月		
2月	第3回 施設長会(単)	第4回 生活相談員会議
3月		

*施設長会

情報交換、意見集約その他について検討する。

*生活相談員会議

情報交換及び相談員の合議により決定された事項について検討する。

(3) 養護・ケアハウス部会

養護・ケアハウス部会では、相談員会を年度内に3回開催します。また、施設長（管理者）会は、必要に応じ随時開催します。

期 日	内 容
29年 4月	
5月	
6月	
7月	第1回相談員会【情報交換会・施設見学・職員研修（事故防止）】
8月	
9月	
10月	第2回相談員会【情報交換会・施設見学・職員研修（感染症）】
11月	
12月	
30年 1月	
2月	第3回相談員会【情報交換会・施設見学・職員研修（未定）】
3月	

*施設長（管理者）会は随時実施

(4) グループホーム部会

① 症例検討、情報交換を年4回開催

期 日	内 容
29年 4月	
5月	
6月	第1回部会【事例発表：夢かご】、講師：認知症介護指導者、情報交換
7月	
8月	
9月	第2回部会【事例発表：幸園】、講師：認知症介護指導者、情報交換
10月	
11月	
12月	第3回部会【事例発表：松ヶ枝】、講師：認知症介護指導者、情報交換
29年 1月	
2月	第4回部会【事例発表：相模原】、情報交換、29年度事例検討のまとめと意見交換(講師 高橋恵先生)、次度事業計画・予算 他
3月	

② 施設長（管理者）会議

平成29年12月 開催予定

議題：①平成30年度事業計画・予算について

②来年度の部会長・副部会長について

(5) 研修委員会(予定)

研修カテゴリー	講座数
初任者研修	130 時間×30 名程度
現任研修	4 講座
中間・管理者研修	4 講座
専門講座	2 講座
公開講座	2 講座
介護福祉士 ファーストステップ研修	全 5 回 平成 27 年度より継続事業

※相模原市からの研修事業補助金額により講座数を調整する